


2010年度 事業報告書



シクロツーリズム
しまなみ 

CycloTourisme Shimanami

1. しまなみ海道サイクリスト受入基盤整備事業

2009 年度作成した自転車旅行者向けの専門マップを活用し、わが国唯一の「海峡をまたぐ自転車旅行」の充実を進め、地域への誘客活動を展開した。

(1) サイクルマップを活用した“しまなみポタリングツアー”の販売 自転車旅行経験や自転車旅行者とのネットワークを持つメインスタッフを中心に、多様な視点を持った複数の人が関わりながらツアー造成を進めた。

【ツアー造成の様子】



島民を交えて、ツアー内容の検討



地域資源を取材。立ち寄りポイントの検証



島内を試走して、ツアー内容の検証

【ガイドツアーの実施】

●親子で行くアドベンチャーサイクリング

実施日：4月3日(土) 5月1日(土)

参加者数：10名/8名

子どもと思いっきり遊びたい、自転車に乗りたい、そんなパパ&ママにお奨めのコースとして提案した。

自転車走行距離が17.5kmと、短めの設定ということもあり、小学校低学年のお子様連れのご家族に好評を得た。



出発前の準備体操もバッチリ！でスタート



波方町の大角海浜公園を快走中



しまなみらしさあふれる オレンジライスカレーを提供

●ビギナーでも安心 大島・窯焼ピッツァツアー

実施日：4月4日（日）5月2日（日）11月20日（土）

参加者数：13名／22名／18名

自転車で大島のアート空間「できかけ教室」を目指すツアー。途中、プライベートビーチでカフェ、日常とかけ離れた場所での本格石窯ピッツァの手作り体験と、サプライズに満ちたツアーとして人気を集めた。



大島のアート空間「できかけ教室」へ。



手作りで小麦をこねてピザ生地を作成中



ペダリングの疲れも吹き飛ばす、焼きたて手造りの味

●春を食べ尽くせ！／秋を食べ尽くせ！プチグルメサイクリング

実施日：4月17日（土）5月15日（土）11月6日（土）

参加者数：12名／17名／21名

食に関心のあるサイクリストを対象に企画したツアー。今治市内の老舗から話題の新メニューまで、絶品グルメを自転車で巡る。初心者もグルメを堪能しながらのサイクリングで、走行距離を感じず完走でき、「美容・健康・エコ」ブームにもぴったりのツアーとなった。



大島の名物「島じゃこてん」に舌鼓



大島の「お惣菜とお肉の西屋」で特製の焼豚玉子飯



今治市内のかまぼこ店で名物の“すまき”を賞味

●はじめてのスポーツバイク しまなみ海道ハーフライド

実施日：4月18日（日）5月16日（日）10月3日（日）

参加者数：11名／9名／2名

しまなみ海道の愛媛側、大島・伯方島・大三島を制覇できるツアー。スポーツバイク初心者を中心に、見過ごされがちなスポットや路地裏を巡りながらのゆったりポタリングとなった。実際にロードバイク、MTB、クロスバイクなど様々な自転車タイプの参加者があった。



大三島の絶景ポイントを走行中



商品開発したツアーオリジナルの二輪弁を提供



大三島「こりん工房」でフルーツピザ作りも体験

●みかんの香りに包まれて“畑deカフェ”ツアー

実施日：10月16日（土）参加者

数：5名

しまなみならではの船旅と、しまなみグリーンツーリズム推進協議会の体験メニューとを組み合わせ、地元との連携を生かし、オリジナリティのあるサイクリングツアーを行った。伯方島の休耕地に設置した簡易カフェで野菜収穫や手作りピザ体験を通し農家の方々との交流をはかった。



伯方島の農作地の中を
走行中



休耕地で石窯で焼くピザ
作りを体験中



農家さんたちと交流しながらラン
チを楽しんだ

●“シーカヤック&サイクリング” ここで漕いで瀬戸内海

実施日：11月21日（日）参加者

数：11名

シーカヤックとサイクリングを組み合わせることで、しまなみ海道の楽しみ方のバリエーション・メニューをまたひとつ確立できた。地元のペンション経営者に昼食を提供してもらい、地産地消の食材を楽しみ、地元で暮らす人々との交流もはかった。



シーカヤックでしまなみの海の魅
力を体験してもらおう



地産地消の食材をふんだんに
使った昼食をご提供



8月1日のタンデム解禁以来、タン
デム車での参加者が増えた

（2）サイクルマップと連動したポタリングガイドの育成

地元提携先と協力し、おもてなし環境を整える事業に着手した。



農家、飲食店経営者等と連携
を図るシンポジウムを行った



マップを活用して、新たなサイ
クリングツアー造成のアイデア
を出し合った



マップ内容を吟味し、新たな
情報を提供を呼びかけた

ポタリングガイドの養成を実際のツアーを通して進めた。ツアーの造成については、松山市や久万高原町など、フィールドを変えて距離や時間感覚を学び、オペレーション、インタープリテーション技術の向上に努めた。



ポタリングガイドの先導・中導・後導などのスキルを確認



生活感を肌で感じられる路地裏の訴求力を確認



立ち寄りポイントを地元の人と共に発掘、検討

(3) 啓発イベントの実施（年2回）

自転車旅行地・しまなみのブランディング強化を図るため、自転車旅行者の受入環境整備の社会実験、地元住民のチャレンジ活動などを盛り込んだイベントを行った。

① サイクルカフェ設置による自転車の魅力発信

日時：平成22年10月23日（土）10：00～17：00

会場：今治市・陸地部 沖州広場

内容：快適に街中を走るために開発されたトーキョーバイク、話題の二人で乗るタンデム自転車などのレンタサイクルを実施。サイクリングを目的とせず訪れた旅行者に貸し出し、その魅力を体感してもらった。休憩スペースでは、しまなみ柑橘や地野菜をアレンジした飲食提供でおもてなしをし、コミュニケーションを図ることで、自転車×しまなみのイメージを発信した。



臨時レンタサイクルステーションに街乗りバイクやタンデム車を完備



レンタサイクルで街中を試走してもらい、自転車活用のためのアンケート調査を実施



サイクルカフェで飲食物を提供しながら、コミュニケーションの場を提供した

②しまなみの旬を届ける「しまコレフェスタ」の開催

日時：平成 23 年 3 月 19 日（土）20 日（日） 両日 10：00～17：00

会場：今治市・大三島 多々羅しまなみ公園

内容：地元住民と自転車旅行者の交流を促すイベントとして企画。オリジナル飲食ブース、体験ブースを地元住民参画型で設置。自転車旅行者だけでなく、一般観光客、近隣在住の方々等、大勢ご来訪いただいた。自転車の聖地・しまなみの発信力強化を目指し、話題の二人で乗るタンデム自転車、車椅子タイプの自転車、サイクルトレーラー等、日頃、利用することが少ない自転車のレンタサイクルを同時に実施。その魅力を体感していただいた。



大三島みかんを使った「まるごとみかん餅つき」。多くの方に体験していただき、しまなみみかんをPR。



様々なタイプの自転車レンタサイクルを実施。基本的な乗り方や機能を伝え、30分程度のミニサイクリングを満喫いただいた。それぞれの自転車の持つ特徴に合わせた楽しみ方を意見交換する機会になった。

（４）サイクルトレインの運行（年16回）

2009年度「しまなみ海道10周年記念事業」の成果を受け継ぐ形で、「サイクルトレインしまなみ号」を運行した。自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める便利さは好評で、継続実施を求める声が数多く寄せられた。自転車道を併設する「しまなみ海道」が国内外のサイクリストから注目を集める中、こうした受入の基盤整備は重要であると感じている。

①実施日

春の運行：4月・5月の第一、第三土日 4/3・4/4・4/17・4/18・5/1・5/2・5/15・5/16

秋の運行：10月・11月の第一、第三土日 10/2・10/3・10/16・10/17・11/6・11/7・11/20・11/21

②運行ダイヤ

往路：松山駅 8：30 頃 → 波止浜駅 8：50 頃

復路：波止浜駅 18：00 頃 → 松山駅 18：50 頃

(11月7日往路のみ、来島海峡サイクリング大会の開会に合わせて運行を1時間早めた)



③乗車数

	往復	往路のみ	復路のみ	往路合計	復路合計	合計
4月 3日 (土)	9	5+子1	0	14+子1	9	23+子1
4月 4日 (日)	11+子2	1	3	12+子2	14+子2	26+子4
4月 17日 (土)	14+子1	4	0	18+子1	14+子1	32+子2
4月 18日 (日)	20+子1	5	5	25+子1	25+子1	50+子2
5月 1日 (土)	22+子2	6	0	28+子2	22+子2	50+子4
5月 2日 (日)	18+子2	0	5	18+子2	23+子2	41+子4
5月 15日 (土)	12+子1	2+子1	2	14+子2	14+子1	28+子3
5月 16日 (日)	16	2+子2	5	18+子2	21	39+子2
10月 2日 (土)	8	0	0	8	8	16
10月 3日 (日)	4	0	0	4	4	8
10月 16日 (土)	7	1	1	8	8	16
10月 17日 (日)	5	7	2	12	7	19
11月 6日 (土)	17+子1	0	2	17+子1	19+子1	36+子2
11月 7日 (日)	16	3	0	19	16	35
11月 20日 (土)	11+子2	4	0	15+子2	11+子2	26+子4
11月 21日 (日)	3+子1	0	2	3+子1	5+子1	8+子2

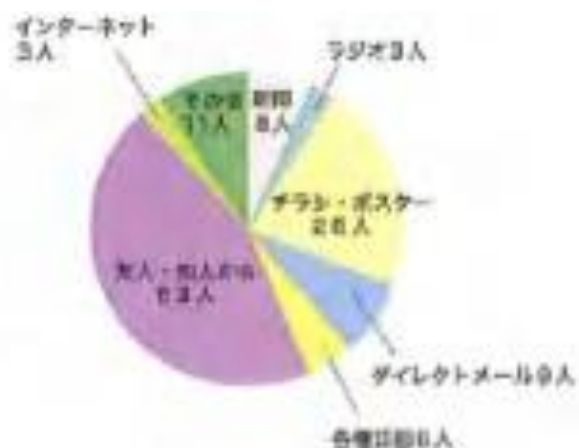
春 8 本 . . . (往路合計 147+子 13 復路合計 142+子 9) 合計 289+子 22
 秋 8 本 . . . (往路合計 86+子 4 復路合計 78+子 4) 合計 164+子 8

④利用者の声

(アンケート結果参照)
 実施日：6日間
 106名/126名中
 回収率：84%

a. サイクルトレイン運行を知った媒体等

1. 新聞	0
2. フジオ	3
3. チラシやポスター	26
4. ダイレクトメール	9
5. 各種誌面 (さわやかえびね・多治市山麓報)	6
6. 友人、知人から聞いて (聞いて)	63
7. インターネット	3
8. その他 ・大学の授業で 1 ・茶話の初め 2 ・まちづくり発表とくしま！	11



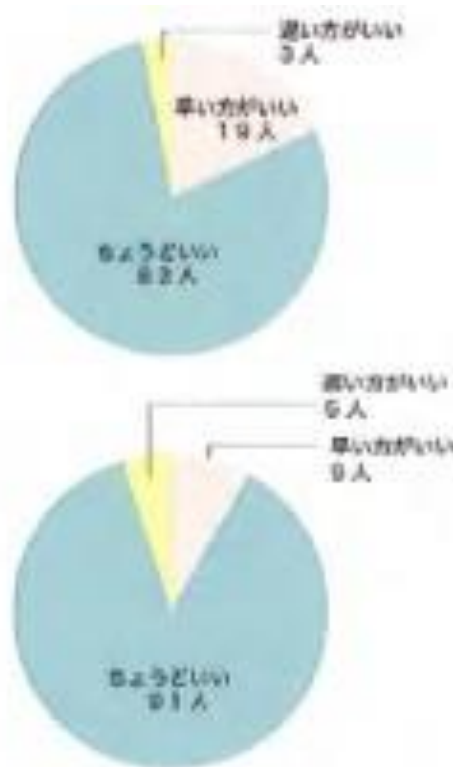
b.列車の運行時刻への意見

往路は「8：23発→9：39着」、復路は「17：44発→18：50着」で運行。サイクリングを楽しむ時間が8時間程度確保できるので、「ちょうどいい」という意見が大多数。

※2011年度の運行時間については、発車時刻を1時間早め、サイクリング時間を9時間程度確保できる運行ダイヤを検討。

●松山駅発車時刻 (8：23)	
1. 早い方がいい - 7：30頃 1人 - 7：30頃 10人 - 8：00頃 0人	19
2. ちょうどいい	63
3. 遅い方がいい - 9：00頃 1人 - 10：30頃 2人	3

●波止浜駅発車時刻 (17：44)	
1. 早い方がいい - 18：30頃 1人 - 17：00頃 5人	6
2. ちょうどいい	81
3. 遅い方がいい - 18：30頃 2人 - 18：00頃 2人	5



c.臨時運行への意見 自転車の聖地・しまなみのチャレンジとして、臨時運行している「サイクルトレイン」。

〇月に1，2回程度・1日1往復の運行

〇愛媛の県庁所在地にある「JR松山駅」としまなみ海道最寄りの「波止浜駅」を結ぶ運行 上記のような、限られた運行ながら、9割の方から継続的に運行を求める声が寄せられた。継続運行をするにあたっては、年間を通しての運行や回数増便を求める声が半数からあがった。

d.利用者からの主な意見

(臨時便への意見)

- ・臨時便運行は特別感がある。
- ・本数が多いとマンネリ化して効果がなくなることが心配。
- ・乗車数を増やして欲しい。回数を増やして欲しい。
- ・もっと手軽に運行できないか。利用できる機会が増えるといい。
- ・年間運行希望。毎週土日希望。
- ・認知度があがったら、本数を増やしていけばいい。

(その他、列車全般への意見)

- ・安心してしまなみ海道へ行ける便利な列車だった。
- ・車内でお勧めコース等の説明、非常時連絡先等を知らせてくれ、サポート体制があり安心感があつた。
- ・車内でしまなみ海道の紹介をして欲しい。
- ・今治市内(四国内)を走る人のために地図があるといい。
- ・参加者の自己紹介(短いもの)を車内でも出来れば、もっと気楽に話が出来ると思う。
- ・通常列車に一両連結して運行すれば、通勤通学にも便利。

- ・気楽に予約無しで利用できるという。
- ・臨時便だと待ち合わせで時間がかかる。普通便や特急にサイクリストを一两連結して欲しい。
- ・通常便と併行して欲しい。
- ・サイクリングイベントの時は運行して欲しい。
- ・松山一波止浜もいいが、四国全通が希望。
- ・停車、乗降可能な駅を増やして欲しい。
- ・四国全通になれば、JR がもっと身近なものになる。近隣の市町村にアピールが必要。
- ・自転車のメッカとして、取り組むべき。
- ・車内が狭く感じた。両数を増やす等、スペース確保の工夫が欲しい。
- ・車内に自転車スタンドがあると利便性があがると感じた。

(ガイドツアーへの意見)

- ・楽しい企画で十分満足した一日だった。
- ・進むスピード等は丁度良く、地元の方々と触れ合える時間もたくさんあって楽しめた。
- ・思っていたより楽に走れた。色々食べられ、ひとも温かく満足。次はもっと長距離走りたい。
- ・人との出会いがとても気持ちの良いものだった。良い体験となった。
- ・初めての参加で楽しかった。観光案内もして頂きもう少しゆっくり広範囲でも楽しそう。
- ・参加者同士、主催者やガイドの方とが一緒に作り上げているツーリングの雰囲気が良かった。
- ・全てに気配りが行き届き、本当に快適な時間が過ごせた。
- ・バラ園にもう少し長く居たかった。とくにバラが咲いている時期は。
- ・サークル等の活動用に、キャンプ込みの 1泊2日だと日程が組みやすい。
- ・近隣の市町村にアピールが必要。例えば松山のリックは見る人が多い。
- ・地元メディアに特集を組んでもらうべき。
- ・対岸との交流もできるといい。

(5) その他しまなみ海道サイクリスト受入基盤に関する事業 1. 営業リーフレットの作成と対外的な営業活動

営業パンフレットを作成し、対外的な営業活動をメインスタッフが担当した。県内、首都圏、関西圏のアウトドアショップ、サイクルショップなどへの営業により、集客基盤を整えた。

①首都圏の旅行会社、自転車店、サイクルカフェの訪問

期日：2010年 7月 23・24・25日 訪問先：サイクリング コーファー

ワイズロード新宿店・赤坂店
ト
レックストア六本木 PROTECK
五反田店・六本木店 ファンライ
ドステーション
(株)ハービーズ

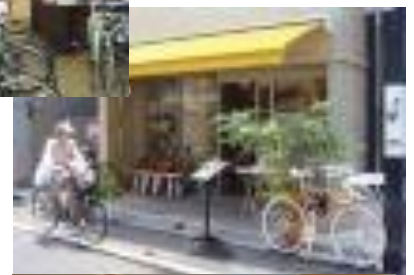
Heavenly Tour
LIFE CREATION SPACE OVE
cafe sacoché

内 容：旅行会社 しまなみへの交通手段の相談



◀しまなみ海道についての意識調査の様子

サイクルカフェのオーナーへのヒアリングの様子。送客のしぐみを意見交換。▶



募集型ツアーの造成の依頼と具体的な検討 自転車店・カフェ
各店舗顧客のしまなみ海道への関心度の聞き取り
ツアー案内パンフレットの店頭設置の依頼

結果：ここ数年で自転車店が急増しており、自転車店等は個店を中心に多くが関心を示し、パンフレットの設置などの協力を仰ぐことができた。2つの旅行会社、1つのカフェにおいて、具体的に首都圏で「しまなみ自転車旅行」を募集、販売していくことになった。

気付き：自転車店にチラシや広報誌設置協力をいただき、まだまだ首都圏では認知度が低い、しまなみのPRを促進することができた。自転車店やサイクルカフェの顧客に、本会の広報媒体を日常的に目に留めていただけのしくみが構築でき、提携する旅行会社より、本会の販促力へ高評価が得られた。

②中部圏の自転車店、サイクルカフェ、アウトドアショップの訪問

期日：2011年2月26・27・28日 訪問先：カトー

サイクル

ニコー製作所 カミハギ

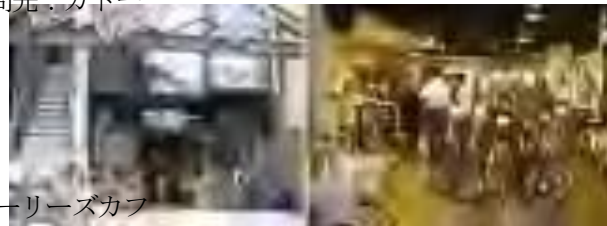
サイクル circles

モリサイクル

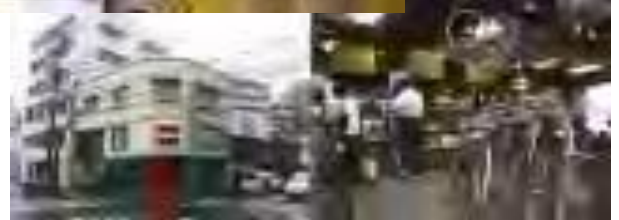
モンベルストア名古屋店 チャーリーズカフ

エ

サイクルショップでは、しまなみ海道へのアクセス方法等をヒアリング▶



◀送客のためのパートナー店舗を獲得。ニーズ把握にも役立つ訪問となった。



内容：自転車店・カフェ 各店舗顧客のしまなみ海道への関心度の聞き取り
ツアー案内パンフレットの店頭設置の依頼

結果：しまなみ海道への関心と興味を抱く来店客は増加している。自転車店としても多くが関心を示し、パンフレットの設置などの協力を仰ぐことができた。1つのサイクルカフェにおいて、人の集まる場所、人を巻き込んで何らかの自転車のムーブメントを起こす拠点としての機能を果たしている点に着目して、聞き取り調査を行った。

気付き：自転車店にパンフレットや広報誌設置協力を依頼しながら、しまなみ海道への入り口として訪問を促すPRを促進することができた。サイクルカフェの顧客に、本会の広報媒体を恒常的に設置してもらい、しまなみへの情報窓口としての役割を認知してもらい、しくみが構築できた。

2. サイクルマップの発行、改定に向けた実測、情報整理

平成21年度発刊のマップの改定、愛媛県側の陸地部や広島県側のしまなみ海道沿線の島々のサイクルマップ作成に向けた活動を行った。

①生口橋・因島・向島への実測調査の様子

エリア内のロードを全て実測し、区分ごとの情報収集、距離、高低差の緻密な計測を行った。

- ・グリーンベルト・ブルーベルトを敷いて整備された以外の道も詳細に調査した。
- ・数値だけでなく、風景や道程などの魅力を文章化して地図に盛り込むためにくまなく実走した。
- ・地元の人にヒアリングを行い休息ポイント、トイレポイントなどを洗い出しながら実測した。
- ・分岐点など道に迷いやすい場所や危険箇所を、実走することで判別することに努めた。
- ・人気コース、裏道ロード、立寄りポイントを設定するための比較と検証を行いつつ実走した。



生口島の実測



因島の実測



向島の実測



地域資源の発掘



地元へのヒアリングを実施



立寄りポイントの調査

②情報整理の様子

測走してえたデータカテゴリー別に整理し、それを書きで落とし込む作業を行う。同時に、サイクリストの機関の情報や立寄りポイントなどマップの利用価値向上に向けた内容の構築に努めた。



③マーケット情報収集の様子

しまなみを訪れるサイクリストのアクセス手段、走行ルート、滞在日数、宿泊場所、立寄り場所、飲食場所などをヒアリングし、マップ製作への助言・提案を収集した。



- ・旅行者の経験値に応じて訪問場所と走行ルートが変わり、幅広い情報のニーズが求められた。
- ・ネット上から携帯用端末器ですばやく情報を得られるため、情報の差別化を意識する必要を感じた。
- ・金額、入手方法についての要望をヒアリングできた。

④地元の情報収集の様子 マップに情報としてのせる飲食店、宿泊施設、体験メニュー、立ち寄りポイント、観光ポイントなど その島ならではの資源情報を収集し、各店各地の雰囲気・特徴など訪れてみたくなる要素を聞き取り、掲載した。

以下のような指標を検討し、情報収集の際は留意してヒアリングした。

- ・地元民との対話で、素朴さを探る
→ネット情報では見えてこないもの
「人の素顔・笑顔」「島の暮らしや習慣」「伝統行事、文化」
「古い町並み」「地元力」「生活の苦勞、魅力、夢、こだわり」等
- ・一步踏み込んだ取材と、ポイントを押さえた写真撮影、分かりやすい文章化



2. その他のツアー

(1) 出張ツアー

●松山プチグルメ・サイクリング 城北編

実施日：8月28日（土）参加者

数：16名

松山市内の城北エリアを中心に、地域に根付いた老舗や商店街の活性化を担った店などを訪れるポタリングをおこなった。



かつて常連だったという参加者も魅力を再認識



生活感を肌で感じられる路地裏ポタリングの醍醐味を味わう



普段は入らないような店を回れて楽しいと参加者に喜ばれる

●久万高原チャレンジサイクリング

実施日：9月18日（土）参

加者数：10名

実りの秋の里山を谷間の村々をたどりながら満喫し、地元婦人会特製の季節感いっぱいの“山ご飯”で昼食。地域の人々との交流をはかりながらその土地の魅力を知るサイクリングをおこなった。



季節の景色を楽しみながらペダリング



地元の農産物で手作りのおもてなし。交流にも花が咲く



名水の湧く立寄りポイントには名産フルーツを用意

(2) 提携ツアー

●マドンナ倶楽部

JR を使い、季節に合わせた旬の体験や食事を女性同士が楽しむことをコンセプトにした旅とのコラボ。 販

売期間：4/1～9/30 まで

コース：しまなみスローサイクリング

のんびりゆったり自転車散歩 優しい時を奏でるしまなみ時間

(A) 来島海峡と大島オーシャンロード ペイザンでゆったりカフェタイム

(B) 来島海峡空中散歩 本格釜焼きピッツァづくりに挑戦!

(C) 来島海峡と大島オレンジロード 海辺のペンションで島ランチ

実績：5月30日(日)6名・9月20日(月)2名

「(C) 来島海峡と大島オレンジロード 海辺のペンションで島ランチ」

時間：10:10～17:00

場所：大島・馬島

走行距離：24km



参加いただいたのは共に女性グループで、マドンナ倶楽部掲載商品を定期的に購入する方であった。冊子を手にとった時、求めているプランと合致していることで購入を即決している様子だった。ただ、マドンナ倶楽部掲載商品として、本会ツアーは異色な位置付け。ターゲットとのミスマッチを感じる面があった。

参加グループは、メンバー内に自転車又は運動に興味があったり、日頃から親しんでいる人がおり、誘い合っただけの参加であった。

残念ながら、集客が乏しく、継続販売とならなかったが、提案商品へのニーズがあることは分かった。販売力UPのために、広報宣伝に戦略が必要である。

●今治国際ホテル「漕いで漕いで瀬戸内海」 内容：シーカヤックとサイクリングの2つのアウトドアで瀬戸内海を満喫するツアー。

今治国際ホテル～来島海峡大橋～馬島～大島～下田水・・・フェリー・・・今治港

実績：10月14日(木)2名

●ユニークツアー「タンデム自転車で婚活サイクリングツアー」 内容：タンデム自転車に男女が前後にまたがりサイクリング。カップリングを行うツアー。

サンライズ糸山～来島海峡大橋～姫内山荘～来島海峡大橋～サンライズ糸山

実績：11月23日(火)18名

(3) オーダーメイドツアー

しまなみでの自転車の旅を個別にコーディネート。

- 実績：●7月14日(水) 2名 「しまなみ海道ハーフライド」※雨天のため、自動車で案内
●8月26日(木) 1名 「しまなみ海道ハーフライド」
●9月3日(金) 2名 「海辺のペンションで島ランチツアー」
●11月19日(金) 35名 「来島海峡大橋サイクリング」
※東京都立葛西南高等学校修学旅行

(4) プレスツアー 取材依頼に基づくアテンド、提携先スタッフのアテンド。

- 実績：●6月11日(金) 1名
株式会社交通新聞社 旅の手帖
「しまなみ海道ハーフライド しまなみ満喫ツアー」
●11月11日(木) 4名 株式会社
会社エイトワン 4名
「大島・伯方島シーサイド・サイクリング」

(5) タンデム自転車まつり

実施日：3月19日(土)

参加者数：11組20名

全国のタンデム自転車愛好家に呼びかけて、自転車の聖地「しまなみ海道」から、皆と一緒にタンデム自転車の存在と魅力をアピールするポタリングと交流会を行った。



しまなみの景色を楽しみながら
ペダリング



タンデム自転車が勢揃いして
注目を集めた



タンデム自転車の普及推進に向けて情
報交換会を行った

3. 自転車旅行普及活動

●トークイベント

世界1周タンデム自転車旅行、自転車による地域活性化の提案、写真展自転車旅行の魅力を伝える活動。

(1) 刊行記念パーティー 日

時：7月4日(日) 会

場：しまなみパティオ



写真展とトークショーで、自転車旅行の魅
力を伝え、自転車観光の可能性を語った。

(2) 刊行記念パーティー

日時：7月24日(土)25日(日)

会場：東京・平均律



自転車旅行で得たものを、しまなみ海道の魅力発信につなげていることを話した。

(3) 自転車旅行の魅力

日時：9月25日(土) 会

場：高松市 南海ドルフィン



スポーツクラブ会員を対象に、自転車フィットネス、しまなみの魅力を伝えた。

(4) サービスエリアイベント 日

時：10月3日(日) 会

場：今治北サービスエリア



自動車来訪者に、自転車×しまなみの魅力をPR。自転車旅行の楽しさを伝えた。

●イベント

ブラインドサイクリング 2010 (今治東ライオンズクラブ提携事業)

日時：9月11日(土)

会場：旧)波方フェリー跡地

8月1日から、全国の4番目の事例として、タンデム自転車の一般公道の走行が可能になったことを受けて、視覚障がい者をメイン対象にタンデム自転車の後部座席に乗ってもらい、自転車の風と音、スポーツ感を体験してもらうイベントを行った。



初めて自転車に乗る人が多く、声かけ、誘導に気を配った。



「音による景色」や「声による景色」を楽しめたとの感想。



「もっと乗りたかった」「次はいつありますか?」と好評を得た。

4. 講師派遣

4月20日(火)	大洲商工会議所 主催	大洲市内に新就職した方の激励会において、シクロツーリズムの魅力を伝えながら、人々との出会いが人生の宝になることなど、激励を込めたメッセージを送った。
5月12日(水)	大洲市社会福祉課 主催	「出会い・ふれあい・郷土愛」をテーマに講演。シクロツーリズムの魅力を伝えながら、多くの人がつながり合う楽しさを共有。聴衆の民生児童委員の資質向上につながったとの評価を得た。
5月27日(木)	波方文化協会 主催	10年半をかけて、五大陸88カ国をタンデム自転車で歴訪した経験を伝えた。また、その経験をいかして、自転車でのまちおこしに取り組む様子を伝え、自転車文化の普及の可能性を言及した。
6月16日(水)	波方ターミナル安全 防災対策連絡協 議会主催	10年半をかけて、五大陸88カ国をタンデム自転車で歴訪した経験を伝えた。海の安全を守るという使命で業務に携わる方が聴衆だったこともあり、事故や事件に巻き込まれることなく、旅を続けられたリスク管理に関心が寄せられた。
6月20日(日)	今治市民活動セン ター指定管理者主 催	地域資源をいかした活動の発表を通して、まちを元気にするための“しくみ”について意見交換するライブトークへ登壇。自転車旅行の魅力を伝え、取り組みを通してリピーターが増えている現状に手ごたえを感じていることをPRした。
8月18日(水)	今治市倫理法人会 主催	モーニングセミナーに参加。10年半をかけて、五大陸88カ国をタンデム自転車で歴訪した経験を伝えた。また、その経験をいかして、自転車でのまちおこしに取り組む様子を伝え、自転車文化の普及の可能性を言及した。
8月19日(木)	今治東ライオンズ クラブ主催	例会に参加。「自転車旅行のススメ」と題し、自転車の魅力、自転車旅行の魅力を伝えた。タンデム自転車の公道走行が解禁されたことを受け、共同実施するイベント「ブランドサイクリング2010」に向け、タンデム自転車の特性や愛好者の声を具体的に伝えた。
9月5日(日)	独立行政法人国際 協力機構(JICA)	開発途上国において持続性・安定性のある観光を実現するために、日本の様々な現場で取り組みを学ぶJICA研修「持続可能な地域観光振興」を担当。サイクリングを活用した観光振興事例を紹介。
9月30日(木)	愛媛県市議会観光 振興議員連盟主催	県下11市の市議会議員県観光議員連盟が県下各市の観光振興の発展、県内・四国内の一体的な推進を図るため、必要な知識を習得する研修会として開催。着地型観光商品の事例として紹介した。
10月24日(日)	タンデム愛好会主 催	四国では初めて愛媛県内で8月から一般公道での走行が認められた前と後に人が座る2人乗り用のタンデム自転車を、目の不自由な人にも楽しんでもらおうという講習会開催にあたり、講師派遣。
10月27日(水)	松山大学	NPOを学ぶ授業の1コマを担当。「観光による地域振興を目指して」と題し、地域主導の自転車旅行の可能性、地域課題をビジネス手法で解決する理念を紹介した。
10月29日(金)	(財)えひめ地域政 策研究センター主 催	地域づくりのリーダー養成などを旨とする「地域づくり人養成講座」研修会を担当。地域資源をいかした持続可能な自転車による観光振興の現場を伝え、サイクリングプランの造成のWSを展開した。

12月7日(火)	四国経済産業局主催	「四国・地域ビジネス協働推進フォーラム」へのパネラー登壇。企業・行政・NPOのパートナーシップの必要性和ソーシャルビジネスの可能性を意見交換した。
1月28日(金)	(財)えひめ地域政策研究センター主催	地域づくりのリーダー養成などを目指す「地域づくり人養成講座」閉校式において、研修生へのエールを送る講演会を担当。自身の経験とまちづくりの取り組みについて意見交換した。
1月29日(土) 2月12日(土)	瀬戸内しまなみ海道振興協議会	自転車旅行の裾野を広げる目的で実施している電動アシスト自転車モニターツアーに参加。ツアーアテンドと地元住民懇談会での活動報告などを行った。

5. 審議会・委員会・意見交換会への参加

6月22日(火)	東予ニューツーリズム会議 (愛媛県西条地方局)	愛媛県東予圏域における広域的な観光商品づくりの検討やニーズ把握のためのモニターツアー実施などをした。
8月4日(水)	波方港跡地利用検討会 (今治市波方町支部)	航路が廃止され、管理会社が解散した後に残された施設利用などを地元住民が意見交換する場に参加。活用アイデアを意見交換した。
8月～12月まで 全5回	中心市街地再生委員会 (今治市市街地再生課)	中心市街地を活性化する方策の検討会に参加。まちなかに自転車による回遊性を生み出すしかけや自転車に優しいまちづくりを企画立案した。

6. その他

地域の活性化につながる事業や取組みをする際、県の規制緩和をはじめ、新たな費用負担を伴わない様々な支援を行う「えひめ夢提案制度」を活用し、一般公道でのタンデム自転車走行の開放を提案した。

- 関係者とのミーティング

グ 平成22年5月13

日(木)

- 愛媛県警による検証実走への協力参加

加 平成22年6月7日(月)・8日

(火)